



JP 取扱説明書 1～8頁
原文翻訳：本日本語訳は、Schmersal 本社のドイツ語原文を基に作成されたものであり、翻訳上の疑義がある場合、原文及び英文のみが有効となります。

内容

1 この文書について	
1.1 機能	1
1.2 対象：権限・資格のある人向け	1
1.3 使用記号の説明	1
1.4 適切な使用	1
1.5 安全上のご注意	1
1.6 誤使用に関する警告	2
1.7 免責事項	2
2 製品内容	
2.1 適用機種	2
2.2 特別仕様	2
2.3 目的と用途	2
2.4 技術データ	2
2.5 分類	3
3 取り付け	
3.1 通常の取り付け方法	3
3.2 寸法	3
4 電気配線	
4.1 電気配線上のご注意	3
5 操作・設置	
5.1 表示灯機能	3
5.2 端子部の説明	3
5.3 注意事項	4
5.4 調整プロトコルSRB 324LT	4
6 立上げと保全	
6.1 動作テスト	4
6.2 保全	4
7 取り外し・廃棄	
7.1 取り外し	4
7.2 廃棄	4
8 付録	
8.1 接続例	5
8.2 起動コンフィギュレーション	5
8.3 センサコンフィギュレーション	5
8.4 出力コンフィギュレーション	6
9 適合宣言書	
9.1 EC適合宣言書	8

1. この文書について

1.1 機能

この取扱説明書は、製品の取り付け・据付・試運転・安全操作・取り外しに必要な全ての情報を提供します。製品付近に完全かつ読みやすい状態で保管してください。

1.2 対象：権限・資格のある人向け

この取扱説明書に記述された全ての操作は、使用者によって認められた専門技術者が行ってください。

この取扱説明書を熟読し、コンポーネントの据付及び運転の前に、労働安全及び事故予防のための適用可能な全規定についてご確認ください。

組立作業員は、コンポーネントの選定、取り付け、内蔵に対して、他の技術仕様を遵守するのと同じように、慎重に整合規格を選択しなければなりません。

1.3 使用記号の説明



情報、助言、注釈：

この表示は役立つ追加情報を示します。



注意：取り扱いを誤った場合に、故障、機能不良が想定される内容を示しています。

警告：取り扱いを誤った場合に、傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

1.4 適切な使用

本製品は、設備や機械の一部として安全関連機能を果たすために開発されたものです。

本製品は、下記に挙げられたバージョンまたは製造者によって許可されたアプリケーションに対してのみ使用されるべきものです。



イミュニティ（交絡因子）の回避のために、製品取付箇所での物理的な耐環境性・使用条件は、DIN EN 60204-1のEMC章に適切でなければなりません。

1.5 安全上のご注意

使用者は、この取扱説明書内の注意書き、各国特有の据付規格、周知の安全法規および事故予防方策を遵守しなければなりません。



更なる技術情報については、Schmersalカタログまたはインターネット (www.schmersal.net) 上のオンラインカタログをご参照ください。

仕様などの記載内容について予告なく変更することがあります。あらかじめご了承下さい。



セーフティコンポーネントに結びついている制御の全体的なコンセプトは、EN ISO 13849-2に従って妥当性の確認を実施しなければなりません。

残留リスクは、取り付け・据付・操作・保全に関する説明書同様に安全に関する注意の監視時に周知されています。

1.6 誤使用に関する警告



本製品の不十分、不適切な使用および無効化の際は、人への危険、機械、設備への損害を負う可能性があります。EN ISO 13850およびEN 1088規格を遵守してください。

1.7 免責事項

誤った取り付けやこの取扱説明書を正しく理解していないために起こった損害、故障は、免責事項となります。また、製造者により許可されていない代替・付属品による損害は、製造者の免責事項となります。

独自の修理・改造・変更は、安全上の理由から許可されておらず、その結果生じる損害に対して製造者は免責事項となります。

リレーユニットは、ケースが閉じた状態すなわち前面カバー取り付け状態でのみ使用して下さい。

2. 製品内容

2.1 適用機種

本取扱説明書は以下の型式名を対象としています。

SRB 324LT



同じ型式名シリーズの他の製品で提供されている付属部品であっても、改造は許可されておりません。改造された場合、安全機能を保証することが出来ません。機械指令への適合は、引渡し時の状況でのみ有効とされます。

2.2 特別仕様

2.1適用機種で挙げられていない特別仕様は一般仕様に基づきます。

2.3 目的と用途

安全回路内に取り付けられるセーフティリレーユニットは、制御盤に対して取り付けられます。また、安全機能に対してスライド式・ヒンジ式・取り外し可能な防護装置に設置される強制開離リミットスイッチ、セーフティ磁気スイッチ、または非常停止装置、AOPD（光電センサ）からの信号を評価します。

セーフティ機能として以下のことが定義されます。入力S11-12、S21-22の各端子間のすべて、または1つ以上の入力端子間が「開」のとき、安全出力13-14、23-24、33-34の各端子間および安全出力47-48、57-58の各端子間は「開」です。安全出力13-14、23-24、33-34は、PFH値を考慮して、以下の要求事項を満たしてください。（2.5「分類」も参照）：

- DIN EN ISO 13849-1に従ったカテゴリ4、PL e、
- DIN EN 61508-2に従ったSIL3、
- DIN EN 62061に従ったSILCL3

安全出力47-48、57-58は、PFH値を考慮して、以下の要求事項を満たしてください。（2.5「分類」も参照）：

- DIN EN ISO 13849-1に従ったカテゴリ1、PL c、
- DIN EN 61508-2に従ったSIL1、
- DIN EN 62061に従ったSILCL1

DIN EN 13849-1に基づくパフォーマンスレベル（PL）を満たすためには、安全機能を持つ適切な部品（センサ、ロジック、アクチュエータなど）を使用する必要があります。

2.4 技術データ

注意：

規格： IEC/EN 60204-1, EN 60947-5-1, EN ISO 13849-1, IEC/EN 61508

環境要求： EN 60068-2-78

固定： 標準DINレール（DIN EN 60715）

配線表示： EN 60947-1

ケース材質： プラスティック製、グラスファイバー強化熱可塑性樹脂、通気性有

接点の材質： 銀酸化すず（AgSnO）、銀ニッケル、セルフクリーニング
強制開離式

重量： 420 g

起動条件： 自動または起動ボタン（監視あり）

バックチェック回路： Yes

自動リセット時動作時間： 通常250 ms

リセットボタン付動作時間： 通常20 ms

非常停止時の応答時間： 通常30 ms / 最大36 ms

給電故障時の応答時間： 通常80 ms

機械的データ：

接続方式： ネジ端子式

ケーブル断面積： 0.25 ... 2.5 mm²

接続ケーブル： 単線・より線

ケーブル端子に対する締め付けトルク： 0.6 Nm

脱着可能な端子有： Yes

機械的寿命： 1,000万回

耐衝撃： 10 g / 11 ms

耐振動（EN60068-2-6準拠）：

使用周囲温度： -25 °C ... +60 °C

保存周囲温度： -40 °C ... +85 °C

保護構造： ケース部： IP40

端子部： IP20

取り付け領域： IP54

空間距離・沿面距離（IEC/EN 60664-1準拠）： 4 kV/2

（基礎絶縁）

イミュニティ（電磁耐性）： EMC指令準拠

電気的データ：

接点抵抗： 最大100 mΩ

消費電力： 最大 3.2 W / 7.1 VA 追加表示出力

定格使用電圧 U₀： 24 VDC: -15% / +20%, リップル最大 10%,

24 VAC: -15% / +10%

周波領域： 50 Hz / 60 Hz

供給電圧のヒューズ： 内蔵電子ヒューズ、

遮断電流 F1: > 2.5 A; 遮断電流

F2: > 50 mA (S11-S31) / > 800 mA (X4)

制御回路での電圧・電流：

- S11, S12, S21, S22, S31, S32: 24 VDC, 10 mA

- X1, X2: 24 VDC, 起動インパルス 350 mA / 15 ms

- X3, X4: 24 VDC, 起動インパルス 130 mA / 80 ms

- X4, X5: 24 VDC, 起動インパルス 140 mA / 15 ms

入力：

交差短絡検出： オプション

配線断線検出： Yes

地絡検出： Yes

NO接点数： 0個

NC接点数： 2個

ケーブルの長さ： 1.5 mm² : 850 m、

2.5 mm² : 1,400 m

入力端子間の許容抵抗値： 最大40 Ω

出力：

安全出力数： 5個

補助出力数： 1個

追加出力数： 3個

安全出力のスイッチ切替能力：

- 13-14, 23-24, 33-34 (停止カテゴリ0)： 最大250 V, 8 A抵抗負荷 (適切な接点保護における誘導負荷時)；
AC-15: 230 VAC / 6 A, DC-13: 24 VDC / 6 A；
使用周囲温度における合計電流
45° Cまで: 18 A / 55° C: 15 A / 60° C: 12 A,
- 47-48, 57-58 (停止カテゴリ1)： 最大250 V, 6 A抵抗負荷 (適切な接点保護における誘導負荷時)；
AC-15: 230 VAC / 3 A, DC-13: 24 VDC / 2 A；
使用周囲温度における合計電流
45° Cまで: 12 A / 55° C: 10 A / 60° C: 8 A

補助出力の定格： Y1-Y3: 24 VDC / 100 mA, 合計電流: 200 mA

補助接点の定格： 61-62: 24 VDC / 2 A

安全接点のヒューズ：

- 13-14, 23-24, 33-34 (停止カテゴリ0)： 外部 ($I_k = 1000$ A) EN 60947-5-1準拠
ヒューズ 10 A クイックブローヒューズ,
8 Aスローブロー；
- 47-48, 57-58 (停止カテゴリ1)： 外部 ($I_k = 1000$ A) EN 60947-5-1準拠
ヒューズ8 Aクイックブローヒューズ,
6.3 Aスローブロー

補助出力のヒューズ： 外部 ($I_k = 1000$ A) EN 60947-5-1準拠 ヒューズ2.5 Aクイックブローヒューズ, 2 Aスローブロー

補助出力ヒューズ： 500 mA (内部電子ヒューズF3)

IEC/EN 60947-5-1に従った使用カテゴリ： AC-15, DC-13

寸法 (高さ × 幅 × 奥行き)： 100 × 45 × 121 mm

本取扱説明書で扱われている技術データは、定格動作電圧 U_0 ±0% のコンポーネント操作時に有効とされます。

2.5 分類

規格： EN ISO 13849-1, IEC 61508, EN 60947-5-1

PL： 停止カテゴリ0: eまで, 停止カテゴリ1: oまで

カテゴリ： 停止カテゴリ0: 4まで, 停止カテゴリ1: 1まで

PFH値： 停止カテゴリ0: $\leq 2.0 \times 10^{-8}/h$,
停止カテゴリ1: $\leq 2.0 \times 10^{-6}/h$

DC： 停止カテゴリ0: 99% (高),
停止カテゴリ1: > 60% (低)

CCF： > 65点

SIL： 停止カテゴリ0: 3まで,
停止カテゴリ1: 1まで

耐用年数： 20年

$2.0 \times 10^{-8}/h$ と $2.0 \times 10^{-6}/h$ のPFH値は、接点負荷 (安全出力接点に関する電流) と平均安全機能要求サイクル ($n_{op/y}$) の表で実際されている組み合わせの下で有効となります。年間365日、1日24時間操作において、リレー接点に対して報告された平均安全機能要求サイクル (t_{cycle}) の下で行って下さい。その他の使用に関してはご照会下さい。

接点負荷	$n_{op/y}$	t_{cycle}
20 %	525, 600	1.0分
40 %	210, 240	2.5分
60 %	75, 087	7.0分
80 %	30, 918	17.0分
100 %	12, 223	43.0分

3. 取り付け

3.1 通常の取り付け方法

取り付け部後部 (DINレールストッパ側) をDIN EN 60715に適合したDINレールにはめ込みます。

ケース後部を上げ、少し前方へ傾かせてセットし、ロックが掛かるまで押してください。

3.2 寸法

全ての寸法単位はmmです。

製品寸法 (高さ・幅・奥行き) : 100 × 45 × 121 mm

プラグイン端子付 : 120 × 45 × 121 mm

4. 電気配線

4.1 電気配線上のご注意



電気安全に関しては、電気的に接続された機器への意図しない接触や供給ケーブルの絶縁については、この機器において発生する最大電圧に対して保護されるように設計しなければなりません。



電気配線は通電されていない状態で、専門技術者が実施してください。

配線例は附属文書を参照ください。

5. 操作・設置

5.1 表示灯機能

- ・ K1 : チャンネル1リレー動作表示灯
- ・ K2 : チャンネル2リレー動作表示灯
- ・ K3/K4 : チャンネル3/チャンネル4リレー動作表示灯 (47-48, 57-58 各端子間のタイマ安全出力が「閉」時点灯)
- ・ U_0 : 電源表示灯 (緑色) (端子A1-A2に給電時点灯)
- ・ U_1 : 内部回路動作表示灯 (端子A1-A2に電源供給時、かつ内蔵ヒューズが正常な場合に点灯)

5.2 端子部の説明

(図1参照)

電源：	A1	+24 VDC / 24 VAC
	A1.1	+24 VDC / 24 VAC
	A2	0 VDC / 24 VAC
入力：	S11-S12	入力チャンネル1 (+)
	S21-S22	入力チャンネル2(-) (交差短絡検出機能付)
	S31-S32	入力チャンネル2(+) (交差短絡検出機能なし)
出力：	13-14	安全出力1 (停止カテゴリ0)
	23-24	安全出力2 (停止カテゴリ0)
	33-34	安全出力3 (停止カテゴリ0)
	47-48	安全出力4 (停止カテゴリ1)
	57-58	安全出力5 (停止カテゴリ1)
	61-62	補助NC接点
起動：	X1-X2	バックチェック回路
	X3-X4	外部リセット (監視有り)
	X4-X5	自動リセット
	Y1 + Y2	補助出力チャンネル1、2
	Y3	ヒューズF3
	RT	リセット・タイマー

前面カバーの開閉 (図2参照)



追加出力は、安全回路内では使用不可。

- ・本製品の前面カバーを開けます。カバー上下の凹み部分にマイナスドライバーを挿入して、少し持ち上げると開けることができます
- ・前面カバーを取り外したら、本製品の調整を実施してください。
- ・調整後は前面カバーを元の位置に取り付けてください。
- ・調整した復帰時間を前面カバー上に記入してください。



部品には事前の放電後のみ接触可能です！

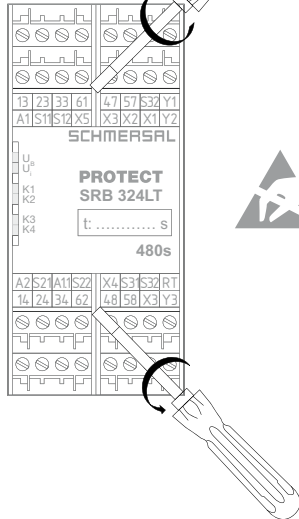
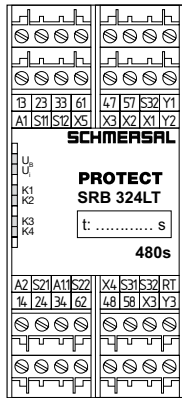


図1

図2

遅延時間調整 (図3, 4参照)



DIPスイッチ調整：

- ・DIPスイッチは、本製品の前面カバーを取り外すとあります。(図3、4)
- ・両DIPスイッチSW1 (リレー1)、SW2(リレー2) は同じ値に調整されなければなりません。
- ・DIPスイッチの調整は、入力された電圧投入時で有効となります。SRB324STの電圧の約3秒間の遮断後に初めて行われます。
- ・調整が有効か確認して下さい。

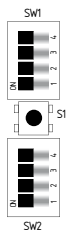


図3

DIPスイッチ調整	遅延時間	DIPスイッチ調整	遅延時間
	< 0.1 s		60 s
	17 s		100 s
	22 s		120 s
	28 s		180 s
	35 s		220 s
	40 s		240 s
	45 s		300 s
	55 s		480 s

図4

ハイブリッドヒューズの復帰

- ・ハイブリッドヒューズの復帰は、電源を再投入するか、押しボタンS1を押してください。
- ・押しボタンS1は、本製品の前面カバーを取り外すとあります。(図2、3参照)

5.3 注意事項

遅延時間の短縮 (SRB011LCのみ) (図5参照)

- ・入力RTにより、ドロップアウト遅延は早めに終了可能となります。
- ・ドロップアウト遅延の早めの終了は、RT端子に+24Vに接続することにより達成されます。(立ち上がりエッジ)
- ・+24Vは、端子S11、S31、X4、A1.1のいずれかで使用可能となります。

オフディレイタイム出力 (図6参照)

- ・安全出力47-48、57-58端子間の遅延時間をDIPスイッチにより0~480秒で設定します。DIPスイッチはリレーユニットの前面カバーの下にあります。
- ・安全出力47-48、57-58の各端子間は、EN 60204-1の停止カテゴリ1に適合しています。
- ・安全出力13-14、23-24、33-34の各端子間は、EN 60204-1の停止カテゴリ0に適合しています。

補助出力(図7参照)

- ・入力回路の信号出力は、補助出力Y1 (チャンネル1) とY2 (チャンネル2) によって行われます。
- ・ハイブリッドヒューズの復帰は、電源を再投入するか、押しボタンS1を押してください。
- ・押しボタンS1は、本製品の前面カバーを取り外すとあります。
- ・ハイブリッドヒューズの状態の信号出力は、追加出力Y3により行われます。ハイブリッドヒューズ非動作時には、使用電圧はY3になります。



図5

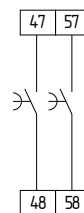


図6

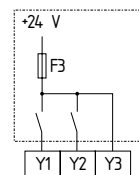


図7

5.4 調整プロトコルSRB 324LT

本製品の調整プロトコルは、お客様により適宜作成され、装置の技術マニュアル（技術資料）に添付し、前面カバー部分に表示されていなければなりません。

調整プロトコルは、安全点検の場合に利用できるようにしておかなければなりません。

会社： _____

リレーユニットは以下の機械で取り付けられます。

機械番号 _____ 機械型式 _____ リレーユニット番号 _____

調整された遅延時間： _____

調整日 _____ 責任者署名 _____

6. 立上げと保全

6.1 動作テスト

本製品は、安全機能に関してテストされなければなりません。ここでは、以下を確認して下さい。

1. 製品が確実に取り付けられていることを確認してください。
2. ケーブル配置や接続状態を確認してください。
3. ケースの損傷を確認してください。
4. 接続センサの電気機能とそのセーフティリレーユニット・後続のアクチュエータに対する影響を確認して下さい。

6.2 保全

下記の通常保全を推奨します。

1. セーフティリレーユニットが確実に取り付けられているか確認して下さい。
2. ケーブルに損傷が無い事を確認してください。
3. 製品が正しく動作しているかを確認してください。
4. 遅延時間を確認して下さい。



コンポーネントは、操作安全規則・操作安全規則に従って、最低年に一度の定期点検を受けなければなりません。

破損、故障した際は交換してください。

7. 取り外し・廃棄

7.1 取り外し

本製品は、必ず電源を切った状態で取り外してください。ケース後部を上げ、少し前方へ傾かせてセットし、ロックが掛かるまで押してください。

7.2 廃棄

本製品は、国家規格・法規に従って適切に専門的な措置により廃棄されなければなりません。

8. 付録

8.1 接続例

最低一つが強制開離されている2つの接点AB、外部リセット釦[®]付防護扉監視例などの2チャンネル構成

- ・ ケーブルレベル：2ケーブル装着、強制開離接点付きリレーまたは保護による接点強化・多様性に適しています。
- ・ 回路により、監視回路内の配線断線・地絡・交差短絡が検出されます。
- ・ F2 = 内蔵電子ヒューズ（ハイブリッドヒューズ）50 mA / 800 mA
- ・ H_2 = バックチェック回路

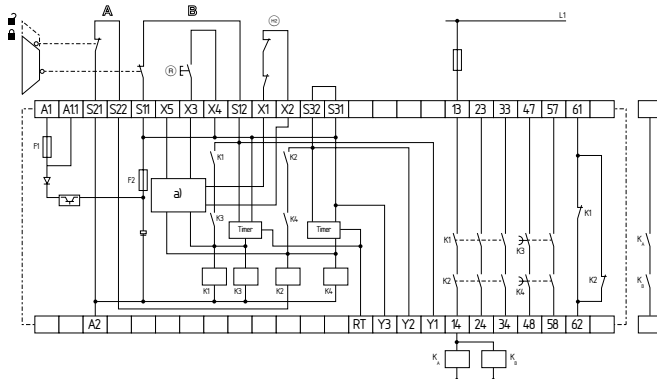


図8 a) 制御

8.2 起動コンフィギュレーション

(エッジ検出付) 手動リセット (図9参照)

- ・ 外部リセットボタンは図のように接続されます。
- ・ 予期せぬ起動を導く可能性のある接点溶着・無効化などのリセットボタンでの故障は、本製品においては、起動不可により検出されます。
- ・ 24V / 250mA の出力が可能。この出力は、X3に接続して下さい。X3は、最低100msの間ONされなければなりません。(HIGH) リレーユニット起動は、出力OFFにより行われます。(LOW)

自動リセット (図10参照)

- ・ 自動リセット：自動リセットは、図のようにバックチェック回路の接続により行われます。バックチェック回路が不要な場合においては、ブリッジ接続が行なわれます。
- ・ 注意：
本製品を自動リセットで使用する場合、非常停止後の再起動はEN 60204-1の9.2.5.4.2に基づき上位のシステムによって予防してください。(意図しない起動防止)

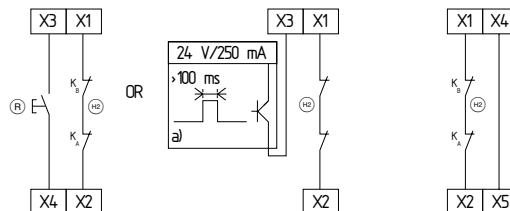


図9 a) 制御

図10

8.3 センサコンフィギュレーション

2チャンネル式PNP半導体出力（ライトカーテンなど）の配線例
EN IEC 61496に基づく。（図11参照）

- ・ 回路の断線および地絡を検出します。
- ・ 制御回路の交差短絡は通常安全装置側で検出するため、リレーユニットは交差短絡を検出しません。
- ・ DIN EN ISO 13849-1に基づく制御カテゴリ3、PL eに適合します。
- ・ 制御回路の交差短絡が保護装置により検出される場合、DIN EN ISO 13849-1に基づいた制御カテゴリ4、PL e

1チャンネル式非常停止スイッチの配線例（DIN EN ISO 13850
（EN 418）およびEN 60947-5-5（図12参照））

- ・ 回路の断線および地絡を検出します。
- ・ DIN EN ISO 13849-1に基づく制御カテゴリ1、PL cに適合します。

1チャンネル式非常停止スイッチの配線例（DIN EN ISO 13850
（EN 418）およびEN 60947-5-5（図13参照））

- ・ 回路の断線および地絡を検出します。
- ・ 回路の交差短絡を検出しません。
- ・ DIN EN ISO 13849-1に基づく制御カテゴリ4、PL e（ケーブルを保護した状態）に適合します。

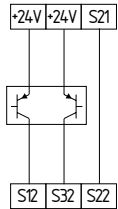


図11

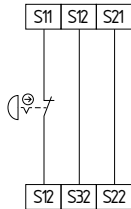


図12

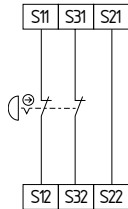


図13

1チャンネル式非常停止スイッチの配線例（DIN EN ISO 13850
（EN 418）およびEN 60947-5-5（図14参照））

- ・ 回路の断線および地絡を検出します。
- ・ 回路間の交差短絡を検出します。
- ・ DIN EN ISO 13849-1に基づく制御カテゴリ4、PL eに適合します。

1チャンネル式インタロック装置付扉監視スイッチの配線例
（EN1088に基づく。図15参照）

- ・ 少なくとも1つの強制分離接点を使用します。
- ・ 回路の断線および地絡を検出します。
- ・ DIN EN ISO 13849-1に基づく制御カテゴリ1、PL cに適合します。

2チャンネル式インタロック装置付扉監視スイッチ回路EN 1088に基づ
く。（図16参照）

- ・ 少なくとも1つの強制分離接点を使用します。
- ・ 回路の断線および地絡を検出します。
- ・ 回路間の交差短絡を検出しません。
- ・ DIN EN ISO 13849-1に基づく制御カテゴリ4、PL e（ケーブルを保護した状態）に適合します。

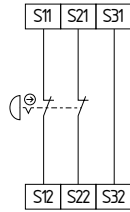


図14

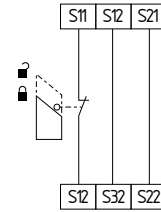


図15

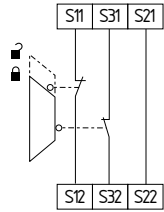


図16

2チャンネル式インタロック装置付扉監視スイッチ回路
EN 1088に基づく。（図17参照）

- ・ 少なくとも1つの強制分離接点を使用します。
- ・ 回路の断線および地絡を検出します。
- ・ 回路間の交差短絡を検出しません。
- ・ DIN EN ISO 13849-1に基づく制御カテゴリ4、PL eに適合します。

2チャンネル式セーフティ磁気スイッチの配線例
（EN 60947-5-3に基づく。図18参照）

- ・ 回路の断線および地絡を検出します。
- ・ 回路の交差短絡を検出しません。
- ・ DIN EN ISO 13849-1に基づく制御カテゴリ3、PL eに適合します。

2チャンネル式セーフティ磁気スイッチの配線例
（EN 60947-5-3に基づく。図19参照）

- ・ 回路の断線および地絡を検出します。
- ・ 回路間の交差短絡を検出します。
- ・ DIN EN ISO 13849-1に基づく制御カテゴリ4、PL eに適合します。

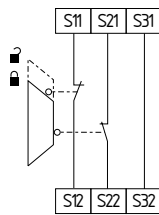


図17

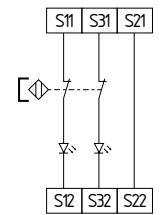


図18

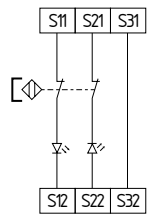


図19



EN 60947-5-3の要求事項を満たす場合に限り、セーフティ磁気スイッチを入力部に接続することが許容されます。

以下の技術的要素事項を満たす必要があります。

- － 開閉容量：240mW以上
- － 開閉電圧：24VDC以上
- － 開閉電流：10mA以上



例として、次のセーフティセンサは要求事項が満たされます：

- － BNS 33-02z-2187, BNS 33-02zG-2187
- － BNS 260-02z, BNS 260-02zG
- － BNS 260-02-01z, BNS 260-02-01zG



制御回路（保護回路）内LED付のセンサ接続時には以下の定格使用電圧を守ることが配慮しなければなりません：

- － 24VDC 最大許容値-5%/+20%
- － 最大許容値-5%/+10% +24 VAC

制御回路内の電圧降下のあるセンサの直列接続時には、特にLEDなどにより問題が生じる場合があります。

8.4 出力コンフィギュレーション

バックチェック機能付1チャンネルコントロール (図20参照)

- ・ 強制ガイド式リレーまたはコンタクタを1個用いた接続例で、接点容量の増幅または接点数の増設に適しています。
- ・ HC = バックチェック回路：バックチェック回路が不要な場合においては、ブリッジ接続が行なわれます。

バックチェック機能付2チャンネルコントロール (図21参照)

- ・ 強制ガイド式リレーまたはコンタクタを1個用いた接続例で、接点容量の増幅または接点数の増設に適しています。
- ・ HC = バックチェック回路：バックチェック回路が不要な場合においては、ブリッジ接続が行なわれます。

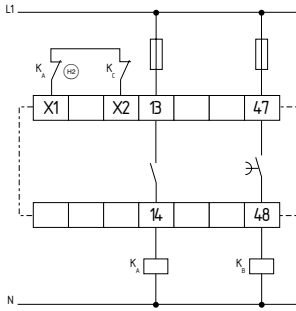


図20

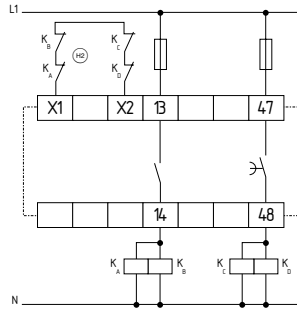


図21

バックチェック機能付多チャンネルコントロール (図22参照)

- ・ 強制ガイド式リレーまたはコンタクタを1個用いた接続例で、接点容量の増幅または接点数の増設に適しています。
- ・ HC = バックチェック回路：バックチェック回路が不要な場合においては、ブリッジ接続が行なわれます

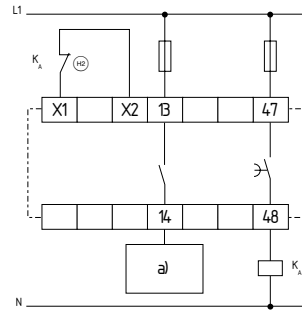





図22 a) コントローラ

9. 適合宣言書

9.1 EC適合宣言書

EC適合宣言書		 
適合宣言書原文翻訳 2009年12月29日以降有効	Elan Schaltelemente GmbH & Co. KG Im Ostpark 2, 35435 Wettenberg Germany Internet: www.elan.de	
ここに、次のセーフティコンポーネントが欧州機械指令の要求事項に適合していることを宣言する。		
製品名:	SRB 324LT	
製品内容:	非常停止スイッチ、防護扉監視、磁気スイッチ、AOPDIに対するセーフティリレーユニット	
関連EC指令:	2006/42/EC 機械指令 2004/108/EC EMC指令	
技術文書の責任者:	Ulrich Loss Möddinghofe 30 42279 Wuppertal	
2006/42/EC 機械指令附属XIに従った品質システムの認証機関:	TÜV Rheinland Industrie Service GmbH Alboinstraße 56 12103 Berlin 認識番号: 0035	
発行場所・日付:	Wuppertal、2009年10月6日	
		
	法的署名 Heinz Schmersal 社長	

SRB 324LT-B-JP



最新の適合宣言書は、インターネット (www.schmersal.net)
でダウンロード可能。



Elan Schaltelemente GmbH & Co. KG
Im Ostpark 2 · 35435 Wettenberg
Postfach 1109, D - 35429 Wettenberg

Telefon +49 - (0) 6 41 - 98 48 - 0
Telefax +49 - (0) 6 41 - 98 48 - 4 20
E-Mail: info-elan@schmersal.com
Internet: <http://www.elan.de>